

株式会社日本エム・ディ・エム

2025年3月期(第53期)

第2四半期(中間期)

決算説明会

2024年11月12日

代表取締役社長 弘中 俊行



 **日本エム・ディ・エム**
JAPAN MEDICAL DYNAMIC MARKETING

東京証券取引所 プライム市場
証券コード:7600

- 目次 -

1 . 2025年3月期 中間期業績結果	P. 3
- 連結売上高	P. 4
- 連結損益計算書	P. 5
- 前年営業利益比較分析	P. 6
- 主要品目別連結売上高	P. 7
日本市場	P. 8
- 日本国内売上高	P. 9
- 日本国内売上高【人工関節】	P.10
- 新製品情報	P.11
- 日本国内売上高【骨接合材料】	P.12
- 日本国内売上高【脊椎固定器具】	P.13
米国市場	P.14
- 米国売上高	P.15
- 米国売上高【人工膝関節】	P.16
- 米国売上高【人工股関節】	P.17
- 新製品情報	P.18

2 . 2025年3月期 通期業績予想	P.19
- 前提条件	P.20
- 連結損益計算書	P.21
- 主要品目別連結売上高	P.22
- 2025年3月期(第53期)の主な取組み	P.23
- SAICOプロジェクト取組み状況	P.24

当社の製品セグメント



人工股関節



骨接合材料



人工膝関節



脊椎固定器具

1

2025年3月期 中間期業績結果



東京証券取引所 プライム市場
証券コード:7600

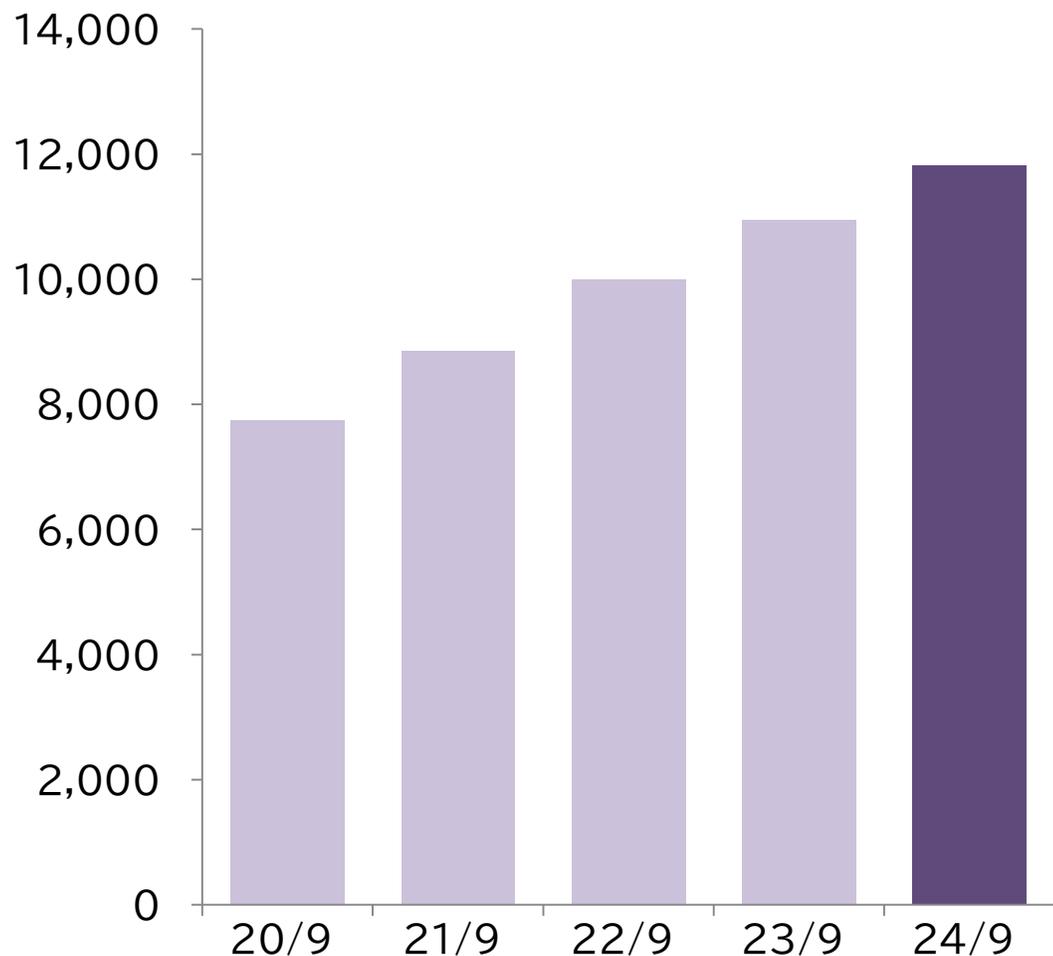
中間期売上高

増減率

(単位:百万円)

11,817百万円
(前年同期比+7.9%)

【売上控除後】



中間期
最高連結売上高更新

118億円

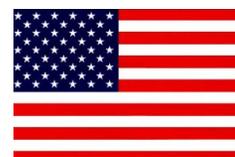
日本



【売上控除後】

6,341百万円
(前年同期比+3.5%)

米国



【円換算後】

5,476百万円
(前年同期比+13.5%)
(為替影響+3.9億円)

2025年3月期 中間期業績結果 連結損益計算書

(単位:百万円、%)	2025年3月期 中間期		前年同期比増減		2024年3月期 中間期	
	実績	売上比	増減額	増減率	実績	売上比
売上高	11,817	100.0	+865	+7.9	10,952	100.0
売上原価	4,310	36.5	+382	+9.7	3,928	35.9
販管費	6,837	57.9	+432	+6.7	6,405	58.5
営業利益	669	5.7	+51	+8.3	617	5.6
経常利益	664	5.6	+32	+5.1	632	5.8
中間純利益*	496	4.2	+136	+38.0	359	3.3

* 親会社株主に帰属する中間純利益

2025年3月期 中間期業績結果 前期営業利益比較分析

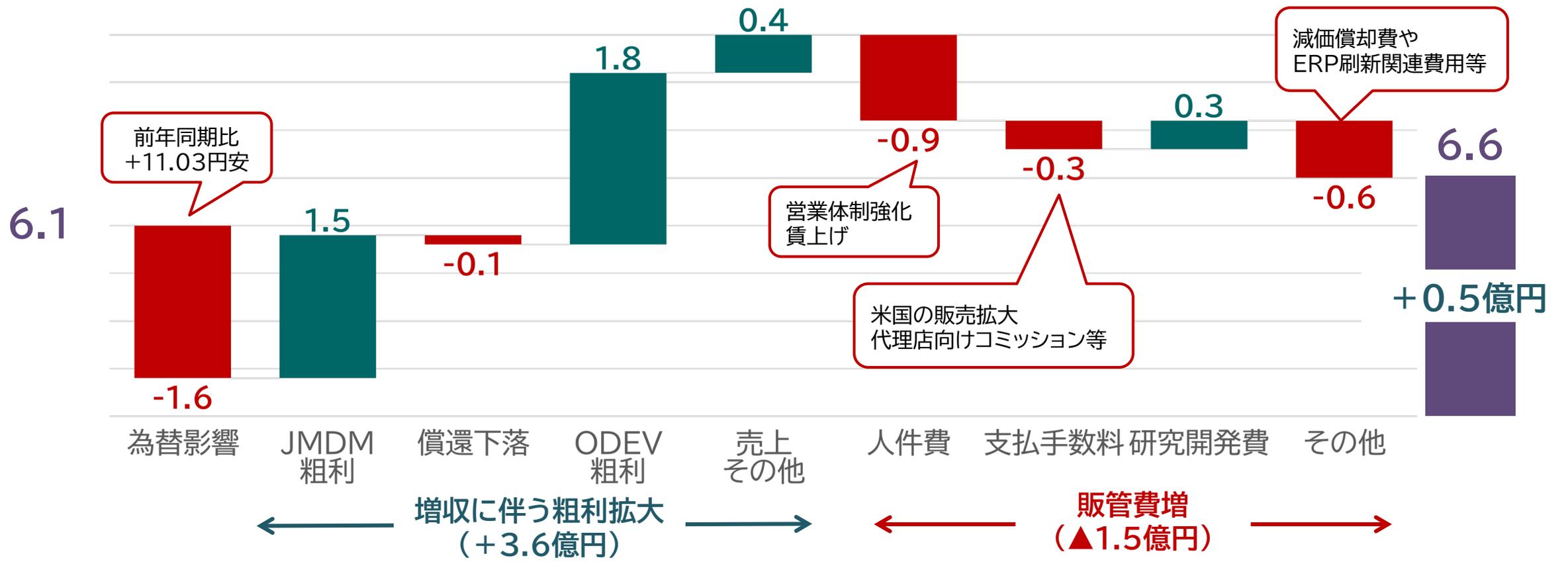
営業利益
6.6億円

営業利益は、売上高の増加に伴い、粗利の拡大(+3.6億円)がODEV製品仕入・販管費に関する円安の影響(▲1.6億円)及び販管費の増加(▲1.5億円)を吸収した結果、前年同期比+0.5億円となった。

2024年
3月期中間期

2024年3月期 中間期～2025年3月期 中間期
営業利益:増減分析(単位:億円)
備考:販管費増はグラフ上ではマイナス方向で表記

2025年
3月期中間期



主要品目別連結売上高

(単位:百万円、%)	2025年3月期 中間期		前年同期比増減		2024年3月期 中間期	
	実績	構成比	増減額	増減率	実績	構成比
日本国内売上高	6,341	53.7	+212	+3.5	6,129	56.0
人工関節	2,373	20.1	+11	+0.5	2,361	21.6
骨接合材料	2,134	18.1	+74	+3.6	2,059	18.8
脊椎固定器具	1,749	14.8	+113	+6.9	1,635	14.9
その他	187	1.6	+4	+2.2	183	1.7
小計	6,443	54.5	+203	+3.3	6,240	57.0
売上控除*3	▲102	▲0.9	▲8	-	▲110	▲1.1
米国売上高*1	5,476	46.3	+653	+13.5	4,823	44.0
人工関節	5,461	46.2	+655	+13.6	4,806	43.9
脊椎固定器具	14	0.1	▲2	▲10.8	16	0.1
合計	11,817	100.0	+865	+7.9	10,952	100.0
自社製品売上高	9,638	80.9	+772	+8.7	8,866	80.1
USDベース*2	35,947		+1,815	+5.3	34,132	
*1 期中平均換算レート(円/USD)	152.34		+11.03		141.31	

*2 Thousands of dollars *3 売上控除:収益認識基準適用に伴う控除。

日本市場





中間期売上高

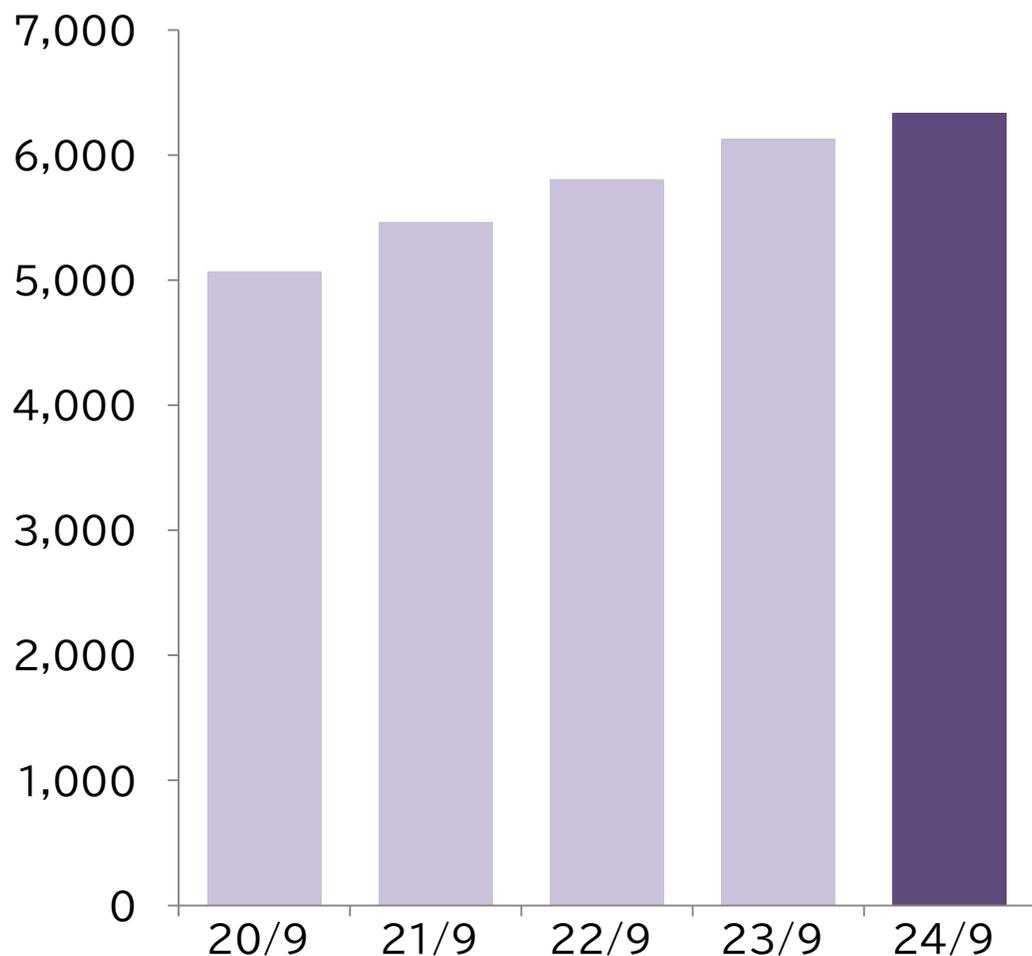
増減率

(単位:百万円)

6,341百万円

(前年同期比 **+3.5%**)

【売上控除後】

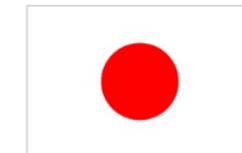
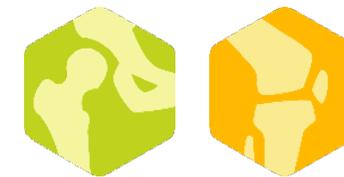


振り返り

✓ 中間期最高売上高更新

全ての治療材料分野で獲得症例数が増加し、前年同期比+212百万円(同+3.5%)となった。

- ✓ 2024年4月に実施された償還価格引下げ等による売上高への影響は、前年同期比▲9百万円(同▲0.1%)となった。

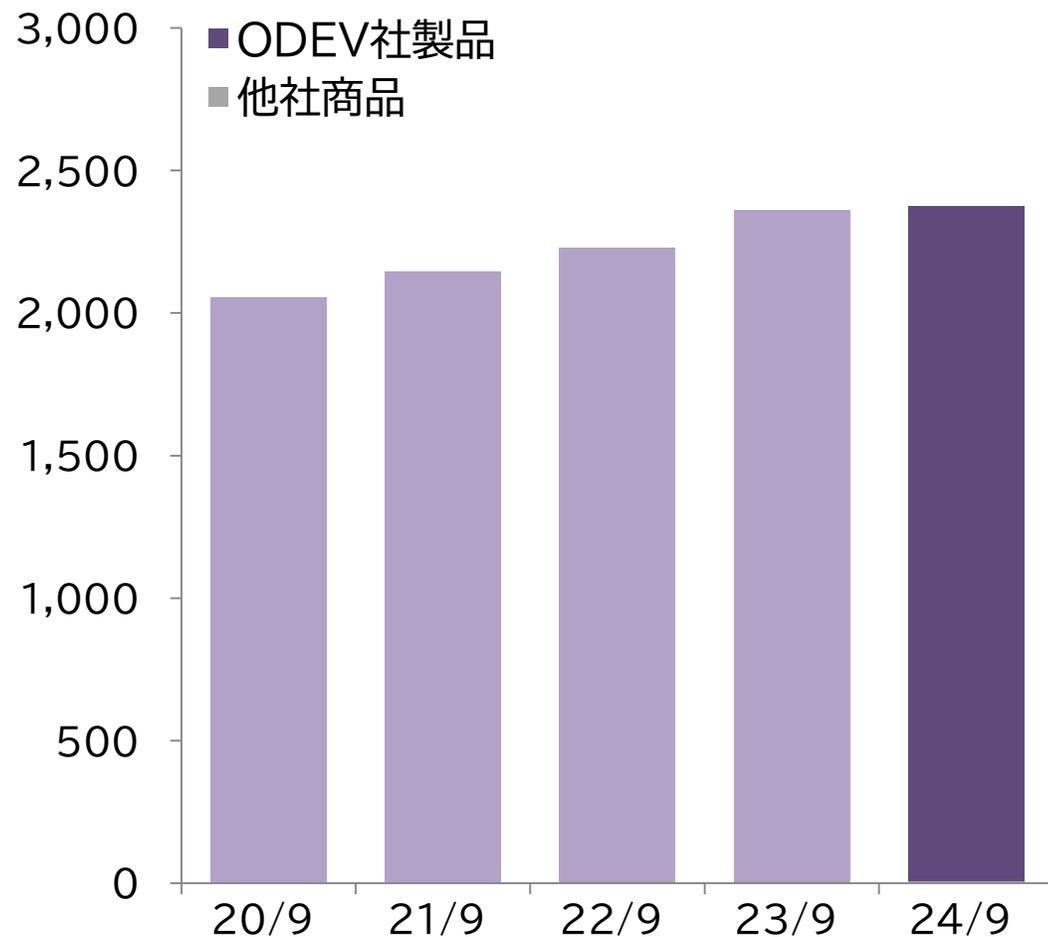


中間期売上高

2,373百万円
(前年同期比+0.5%)

増減率

(単位:百万円)



振り返り

【人工股関節】

*1 BHA:Bipolar Hip Arthroplasty

- ✓ 前年同期比プラス成長
新製品Promontory Hip Stemの獲得症例数が増加
- ✓ BHA(人工骨頭挿入術)は2桁成長 *1

主力製品

新製品



Entrada Hip Stem



Promontory Hip Stem



Ovation Tribute NEO Stem

(2025年発売開始予定)

【人工膝関節】

- ✓ 前年同期比マイナス成長

主力製品

新製品



BKS TriMax



Balanced Knee System Uni

【新製品情報】 人工股関節新製品 Ovation Tribute NEO Stem

日本市場において、当社の人工股関節製品群に新たなコンセプトの新製品が加わり、国内販売拡大に期待



人工股関節大腿骨ステム
「Ovation Tribute NEO Stem」
(2025年3月期第4四半期から日本国内で順次販売)

【本新製品の特長】



- 日本人向けの治療材料として開発
 - ➔ ネック形状が日本人に適しているだけでなく、ステム全長が従来製品より短く、骨温存が可能
- 身長の高い患者さんにも対応
- 医療工具への設備投資抑制に寄与
 - ➔ 従来製品OVATION Tributeヒップ ステムの医療工具と共通化

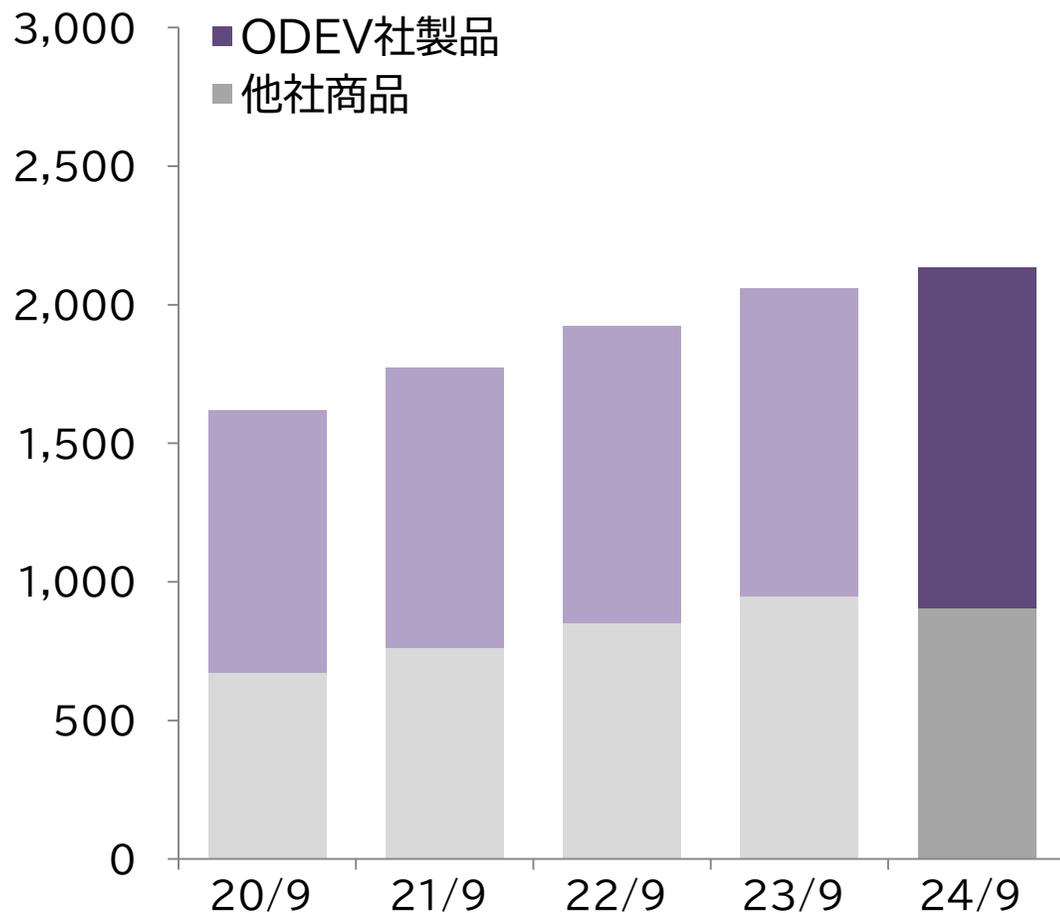


中間期売上高

2,134百万円
(前年同期比 **+3.6%**)

増減率

(単位:百万円)



振り返り

- ✓ 大腿骨頸部骨折治療製品
PHS(自社製品):2桁成長継続
- ✓ **ASULOCK(他社商品):競争激化により、前年同期比マイナス成長**
- ✓ 中間期は猛暑の影響で、市場全体の骨折症例が減少

主力製品・商品



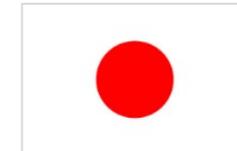
PHS



PHS Side Plate



ASULOCK

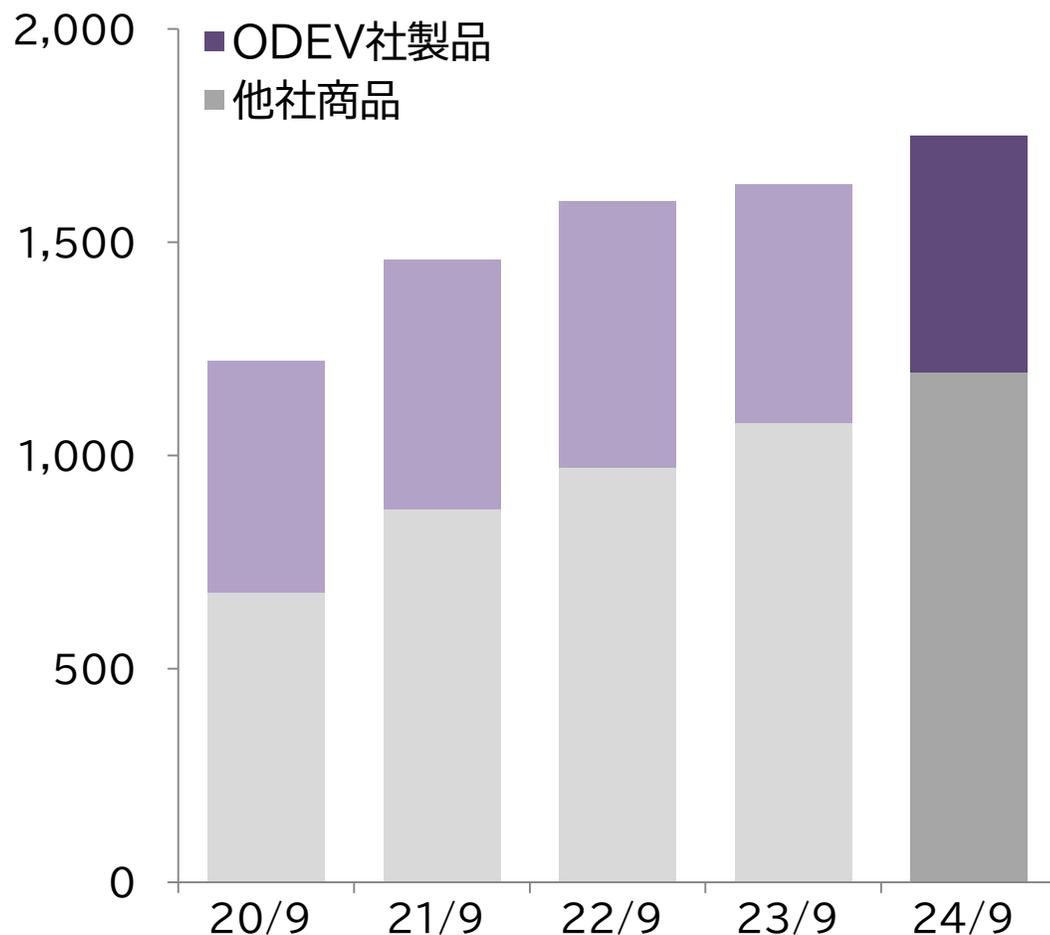


中間期売上高

増減率

1,749百万円
(前年同期比+6.9%)

(単位:百万円)



振り返り

- ✓ BKP:KMC Balloon Kyphoplasty (他社商品)
市場拡大に伴い、2桁成長
- ✓ 頚椎プレート
Lince Plate、新商品Linceα Plate(他社商品):好調
- ✓ 椎体間ケージ
新製品Vusion ARCケージ:好調

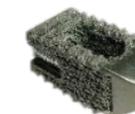
主力製品・商品



Lince Plate



Linceα Plate



Vusion Ti 3D
ケージ



Vusion ARC
ケージ



KMC Balloon Kyphoplasty



米国市場





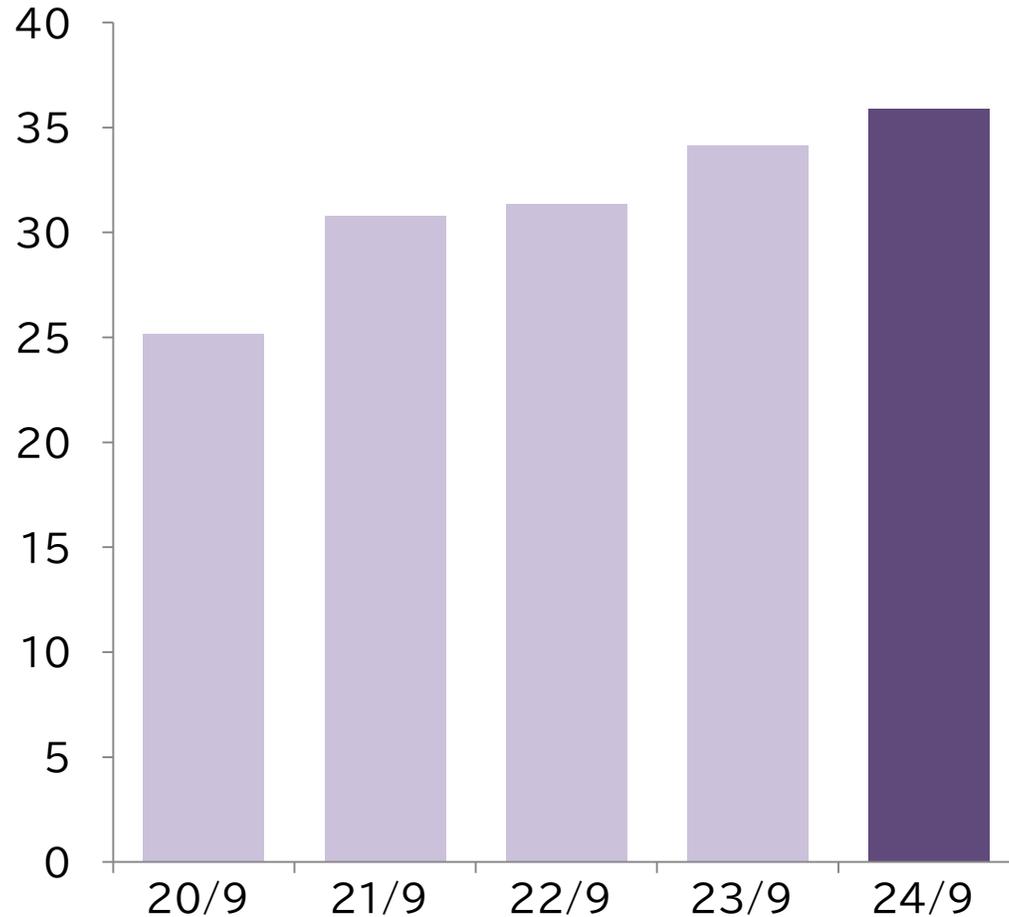
中間期売上高

\$35.9M

増減率

(前年同期比+5.3%)

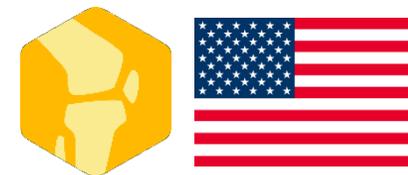
(単位: Million of dollars)



振り返り

- ✓ **中間期最高売上高更新**
(前年同期比+1,815千USDル)
- ✓ 中間期売上高は、昨年及び本年獲得した新規顧客基盤が成長に寄与し、獲得症例数が増加

【期中平均換算レート:152.34円/USDル】
(前年同期:141.31円/USDル)



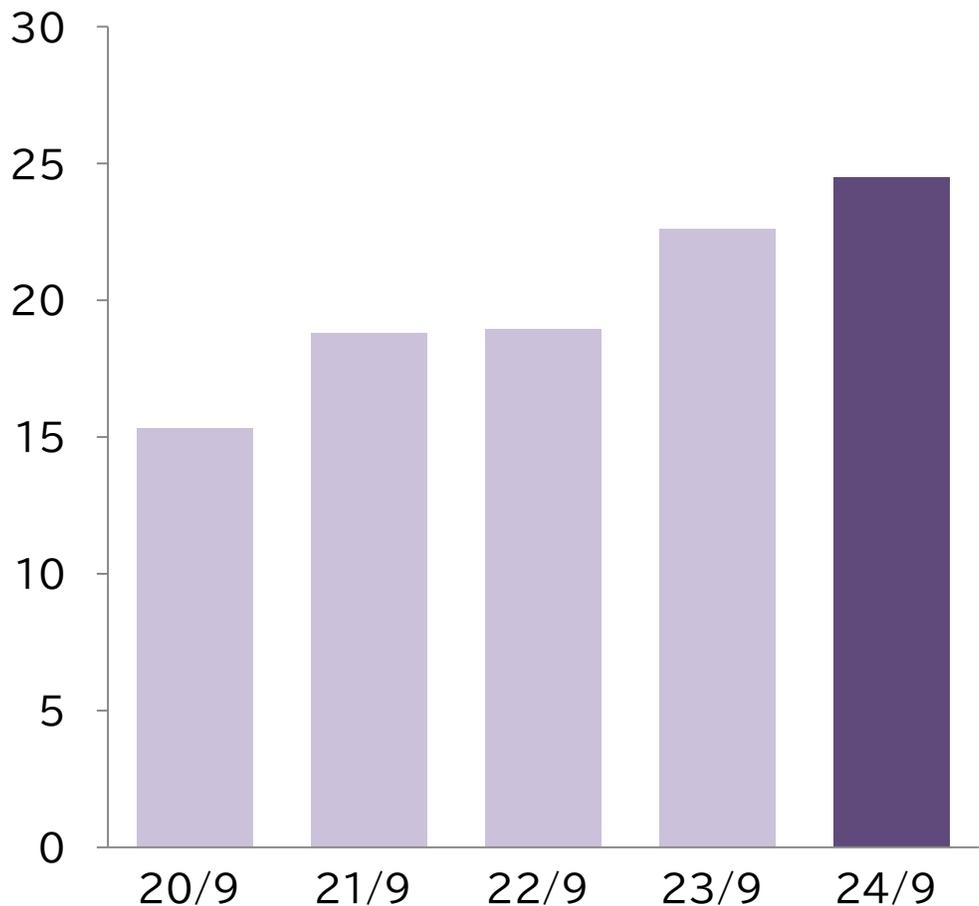
中間期売上高

\$ 24.5M

増減率

(前年同期比 **+8.4%**)

(単位: Million of dollars)



* DePuy Synthes 社向け「KASM」販売等除く

振り返り

- ✓ **BKS TriMax: 2桁成長**
BKS Revision Knee: 継続成長
新規顧客の採用に加え、既存顧客の症例数増が成長に寄与
- ✓ **BKS Uni: 好調**
前期BKS Uniを採用した新規顧客に加え、今期新たに採用した顧客が増加し、成長に寄与

主力製品



2桁成長

BKS TriMax



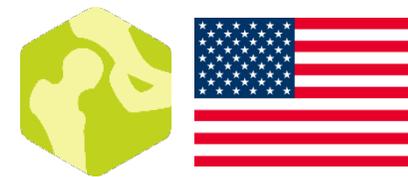
継続成長

BKS Revision Knee



好調

BKS Uni



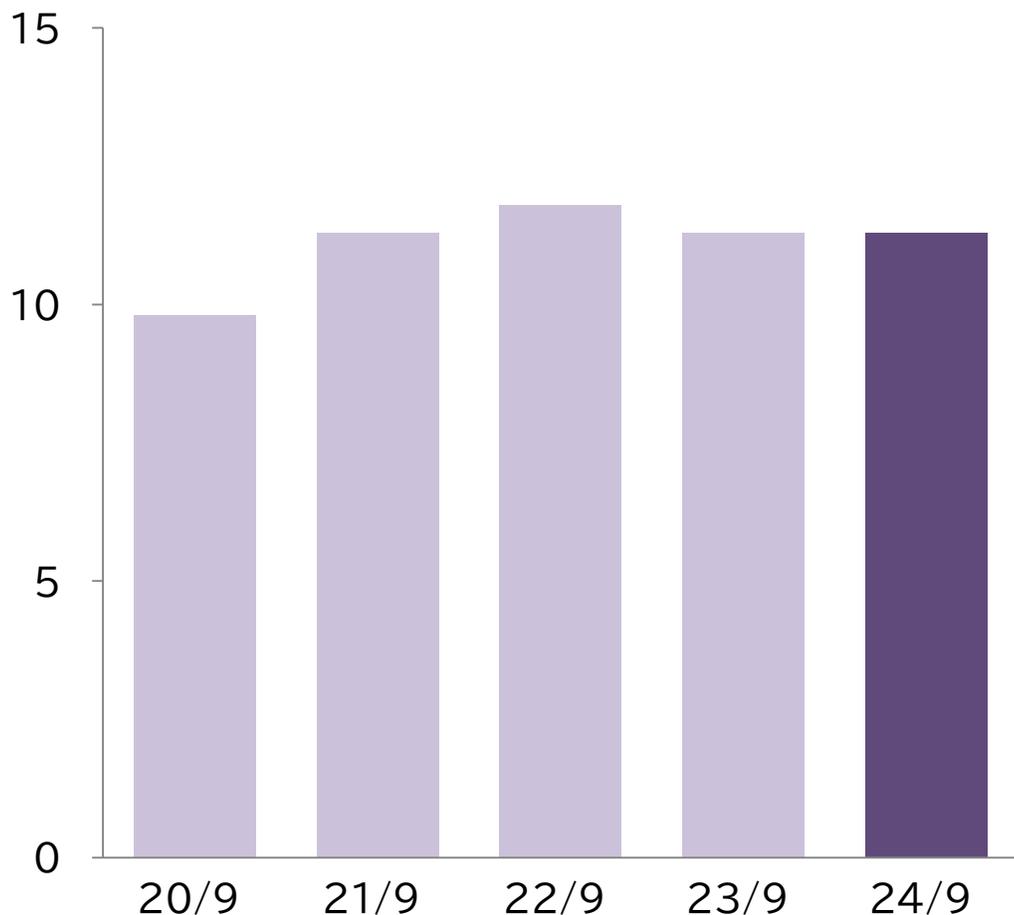
中間期売上高

\$11.2M

増減率

(前年同期比▲0.5%)

(単位: Million of dollars)



振り返り

- ✓ Alpine Hip Stem: 成長継続
- ✓ Entrada Hip Stem、Ovation Tribute Stem: 獲得症例数減少

主力製品



症例
数減



2桁
成長

Entrada Hip Stem

Alpine Hip Stem

人工股関節新製品 Trivicta Hip Stem



- 2024年3月、FDA薬事承認取得
- 2024年9月、初症例実施
- 市場トレンドであるTriple TaperタイプのStem導入により、下半期以降の増収を目指す



新製品導入により
新規顧客獲得を目指す

* DePuy Synthes 社向け「KASM」販売等除く

【新製品情報】 人工股関節新製品 Trivicta Hip Stem

米国市場にてニーズが拡大している
トリプル・テーパー形状の新製品を投入し、新規顧客獲得を目指す



トリプル・
テーパーステム

人工股関節大腿骨ステム
「Trivicta Hip Stem」
(2024年9月販売開始)

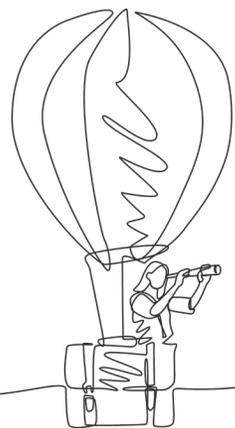
【本新製品の特長】



- ステムの形状が3つの平面を有するテーパー（トリプル・テーパー）形状
 - ➔ 軟部組織を温存する手術手技に対応しており、患者の多様な髓腔形状にフィットすることが期待
- 焼結ビーズコーティング
 - ➔ ビーズ内での骨成長を促し、長期の安定的な固定の促進を期待
- ハイドロキシアパタイト(HA)コーティング
 - ➔ HAコーティングが生物学的な固定の促進を期待

2

2025年3月期 通期業績予想

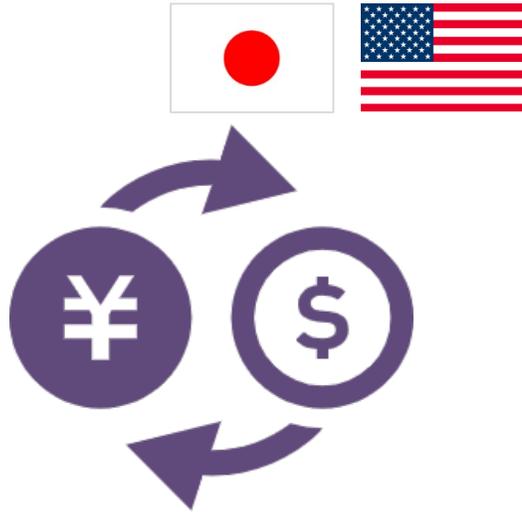


東京証券取引所 プライム市場
証券コード:7600

前提条件

2025年3月期 通期業績予想における前提条件

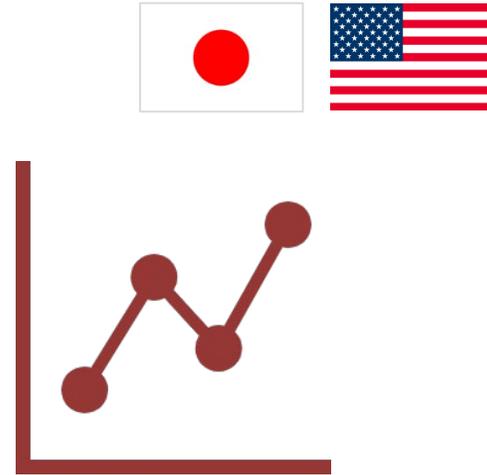
為替レート(USDドル)



想定為替レート
150.00円(円/USDドル)

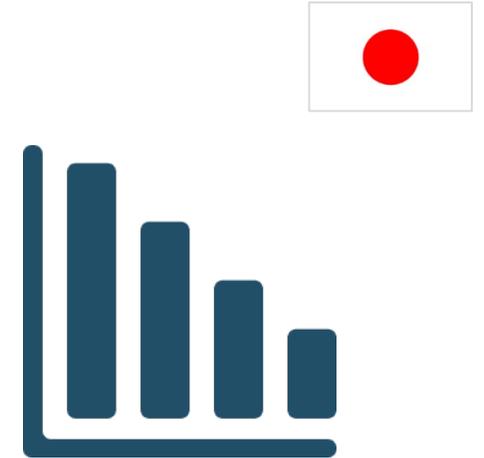
中間期
152.34(円/USDドル)

為替感応度



営業利益
1円あたり約20百万円

償還価格引下げ



償還価格引下げ約0.3%
影響額は年間約50百万円

中間期
9百万円(0.1%)

(単位:百万円、%)	2025年3月期 予想		前期比増減		2024年3月期 実績	
	売上高	売上比	増減額	増減率	売上高	売上比
売上高	25,200	100.0	+2,022	+8.7	23,177	100.0
売上原価	9,150	36.3	+734	+8.7	8,415	36.3
販管費	14,200	56.3	+1,184	+9.1	13,015	56.2
営業利益	1,850	7.3	+103	+5.9	1,746	7.5
経常利益	1,850	7.3	+7	+0.4	1,842	8.0
当期純利益※	1,300	5.2	+28	+2.2	1,271	5.5

※親会社株主に帰属する当期純利益

主要品目別連結売上高

(単位:百万円、%)	2025年3月期 予想		前期比増減		2024年3月期	
	予想	構成比	増減額	増減率	実績	構成比
日本国内売上高	13,500	53.6	+495	+3.8	13,004	56.1
人工関節	5,060	20.1	+127	+2.6	4,932	21.3
骨接合材料	4,670	18.5	+106	+2.3	4,563	19.7
脊椎固定器具	3,540	14.0	+217	+6.6	3,322	14.3
その他	440	1.7	+49	+12.7	390	1.7
小計	13,710	54.4	+501	+3.8	13,208	57.0
売上控除 *3	▲210	▲0.8	▲5	+2.7	▲204	▲0.9
米国売上高 *1	11,700	46.4	+1,526	+15.0	10,173	43.9
人工関節	11,700	46.4	+1,558	+15.4	10,141	43.8
脊椎固定器具	0	0.0	▲32	▲100.0	32	0.1
合計	25,200	100.0	+2,022	+8.7	23,177	100.0
自社製品売上高	20,190	79.5	+1,441	+7.7	18,749	80.2
USドルベース *2	78,000		+7,552	+10.7	70,448	

*1 期中平均換算レート(円/USドル)

150.00

+5.59

144.41

*2 Thousands of dollars *3 売上控除:収益認識基準適用に伴う控除。

	地域	取組み内容
開発		<ul style="list-style-type: none"> 製品ポートフォリオ見直し
		<ul style="list-style-type: none"> 製品ラインアップ拡充のために新製品開発を加速
製造		<ul style="list-style-type: none"> 自社製造能力強化による製造原価低減 調達力強化によるコスト削減・リスク低減
		<ul style="list-style-type: none"> 中国製人工膝関節の製造開始及び拡大
販売		<ul style="list-style-type: none"> 注力製品、新製品による売上高拡大 営業体制の強化(人員増員)
		<ul style="list-style-type: none"> 新製品を梃子に新規顧客獲得 販売ネットワーク強化 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 既存Distributorとの連携強化 ➢ 販売拡大・新規Distributor開拓
		<ul style="list-style-type: none"> 中国製人工膝関節の販売拡大

SAICOプロジェクト取組み状況



11頁

18頁

SAICOプロジェクトとは・・・

Strategic Actionable Initiatives for Cost Optimizationの略称。
当社グループの「自社製造能力強化によるコスト削減」及び、
「調達力強化によるコスト削減」を目的として発足したプロジェクト。

1. 自社製造能力強化による製造原価低減

設備投資による製造能力強化(ODEV社)

ODEV社で増設した製造設備(一例)

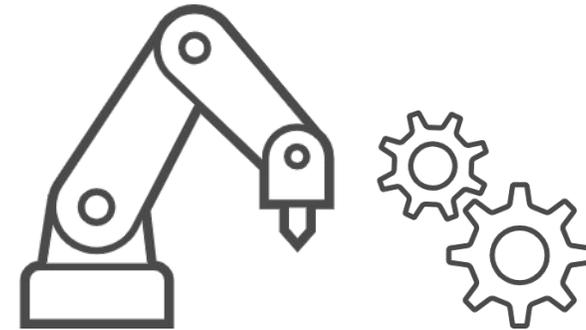


- ODEV社において、製造設備を増設
- 自社製造比率を2027年3月期目標40%達成に向け、製造能力強化を推進中

2-1. 調達力強化によるコスト削減・リスク低減

サプライヤーの複社化

ODEV社において、製造プロセスの一部を
複数社のサプライヤーに製造委託開始



- サプライヤーの複社化により、ODEV社の製造・供給能力を強化、安定供給体制を構築する
- 複社化によるコスト低減を見込む

2-2. 調達力強化によるコスト削減・リスク低減

中国製医療工具の米国供給開始

人工膝関節製品「BKS TriMax」の医療工具(一部)



- 2024年2月から米国市場向けに、「BKS TriMax」の医療工具を供給開始
- 米国での製造より▲30%のコスト削減を実現

2-3. 調達力強化によるコスト削減・リスク低減

日本国内での円貨調達による製造原価低減

人工股関節用フェモラルヘッド
新商品「JMDM BIOCERAM AZUL セラミックヘッド」*1
(2025年3月から日本国内で順次販売)



- 主力製品の一部を米国から日本での調達に切り替え、為替リスクを回避し仕入原価の低減が可能

*1 BIOCERAM AZUL は京セラ株式会社の登録商標です。

最先端の優れた医療機器の開発と販売を通じて、医療に貢献する

お問い合わせ先

株式会社日本エム・ディ・エム IR室

E-MAIL

ir@jmdm.co.jp

IRサイト

<https://www.jmdm.co.jp/ir/>



将来の見通しに関する記述について

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- 実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。